

令和元年 5月20日  
国土政策局総合計画課

**人口減少下における持続可能な国土の利用・管理に向けて**  
～国土審議会計画推進部会国土管理専門委員会における2019年とりまとめの公表～

国土交通省は、2019年とりまとめとして「将来的に放置されていくことが予想される土地の管理のあり方」をとりまとめました。

**【背景】**

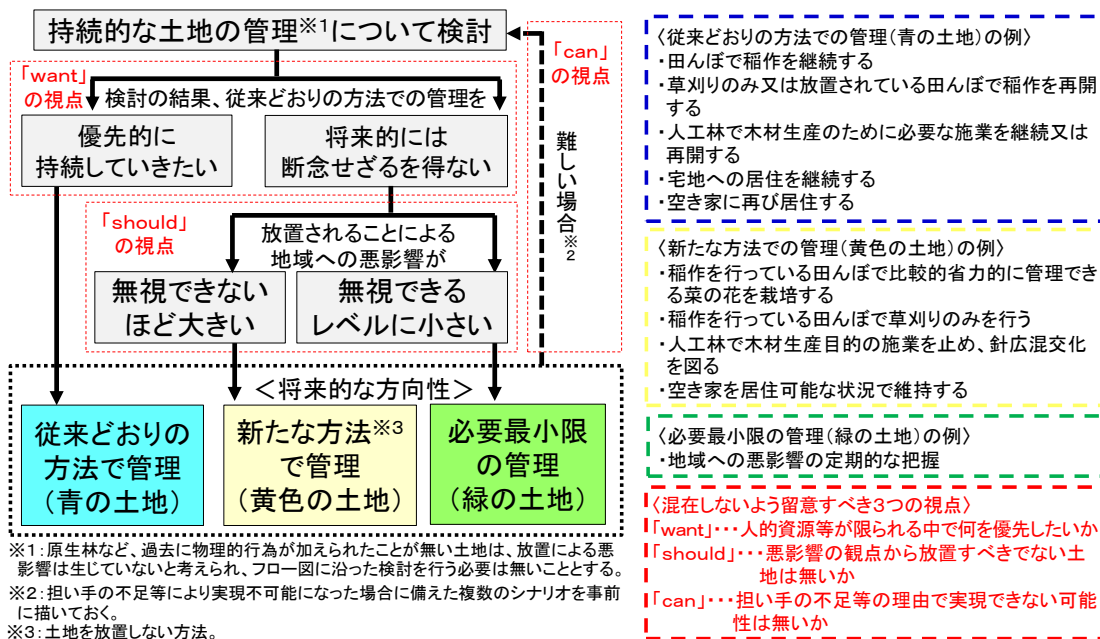
国土管理専門委員会では、国土形成計画の推進に関し、人口減少下における持続可能な国土の利用・管理を推進するための方策のあり方について平成28年9月より検討を行っています。

**【とりまとめのねらい】**

放置以外の選択肢をとることが困難な土地が数多く存在する地域は多いという問題意識に立ち、将来的に放置されていくことが予想される土地の管理のあり方を示すものです。

長野県長野市旧中条村で実施したケーススタディーから得られた知見や、これまでの国土管理専門委員会での議論等を基に整理しています。

〈とりまとめで示されている持続的な土地の管理のあり方検討のフロー図〉



**【「国土管理専門委員会」でのこれまでの3カ年のとりまとめの概要及び関係性】**

別紙参照。なお、それぞれのとりまとめについて、当省ホームページに掲載しております。

[http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s104\\_keikakusuishin\\_kokudokanri01.html](http://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s104_keikakusuishin_kokudokanri01.html)

(注) 2017年とりまとめ及び2018年とりまとめをご覧になる場合、「過去の開催状況」をクリックして下さい。

**【問合せ先】** 国土政策局総合計画課国土管理企画室 栗林、尾崎

電話：03-5253-8111 (内線29-314、29-384)、03-5253-8359 (直通)、FAX：03-5253-1570

### 「国土管理専門委員会」でのこれまでの3カ年のとりまとめの概要及び関係性

【2017年とりまとめ】(H29.5) 「これからの国土利用・管理に対応した国土利用計画(市町村計画)のあり方」

・国土利用計画(市町村計画)を「国土・土地利用に関する市町村のマスタープラン」として活用し、**市町村レベルで地域構造の転換を図っていくことを提言**

【2018年とりまとめ】(H30.6) 「人口減少下の持続可能な国土の利用・管理のために」

・持続可能な国土管理のあり方について**実際に市町村・地区レベルで検討するに当たり、各地域が共通して直面することが多い課題と解決の方向性について**、第2次国土形成計画や第5次国土利用計画(全国計画)に位置づけられた**「複合的な効果をもたらす施策」や「選択的な国土利用」という視点も踏まえ**つつ、地域における取組事例から得られた教訓を中心に**分類・整理**

【2019年とりまとめ】(R元.5) 「将来的に放置されていくことが予想される土地の管理のあり方」

・実際に2018年とりまとめで示した**解決の方向性に沿って土地の使い方を検討したとしても、放置以外の選択肢をとることが困難な土地が数多く存在する地域において**、土地の放置により発生する悪影響が無視できるレベルに小さい場合には、**必要最小限の管理も選択肢の一つとして土地の管理のあり方を検討していく必要性を提言**

#### 持続可能な国土利用・管理に向けたステップ

